



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年1月4日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社 あみやき亭
コード番号 2753 URL <http://www.amiyakitei.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 啓介
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 千々和 康

TEL 0568-32-8800

四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	22,761	1.8	2,147	△10.2	2,234	△9.4	1,494	△9.2
28年3月期第3四半期	22,354	7.1	2,391	7.1	2,466	7.7	1,645	7.7

(注)包括利益 29年3月期第3四半期 1,494百万円 (△9.2%) 28年3月期第3四半期 1,645百万円 (7.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	218.23	—
28年3月期第3四半期	240.29	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	22,386	18,295	81.7	2,671.42
28年3月期	21,881	17,486	79.9	2,553.23

(参考)自己資本 29年3月期第3四半期 18,295百万円 28年3月期 17,486百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	45.00	—	50.00	95.00
29年3月期	—	50.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	50.00	100.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	31,800	6.2	3,255	2.3	3,300	0.5	2,190	0.9
								319.76

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期3Q	6,848,800 株	28年3月期	6,848,800 株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	— 株	28年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期3Q	6,848,800 株	28年3月期3Q	6,848,800 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提条件及びその他関連に関する事項については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善など緩やかな回復基調が続いたものの、個人消費の伸び悩みや不確実な海外要因により為替や株価は不安定さを増すなど先行き不透明な状況が続いております。

当業界におきましては、国産牛肉価格が依然として高水準で推移しており、また、人手不足を主因とする人件費関連コストの上昇並びに消費者の強い節約志向などにより、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような環境の下、当社グループといたしましては、「お客様に喜んでいただき、選んでいただく店舗作り」を目指し、「食肉の専門集団」の強みであるカット技術を活かして、原材料価格上昇の影響をできる限り吸収しつつ品質向上に努め、お客様にとって価値感・満足感のある商品を提供するなど他社との差別化を図り、既存店の強化に努めてまいりました。

店舗数につきましては、新規出店12店舗(焼肉事業10店舗、焼鳥事業2店舗)しましたが、2店舗退店(焼肉事業1店舗、焼鳥事業1店舗)したため、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は241店舗となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は、22,761百万円(前年同期比1.8%増)、損益面につきましては、依然として高水準で推移している国産牛肉相場の影響による原価上昇に加え人件費関連コスト等販売費及び一般管理費の増加により営業利益2,147百万円(前年同期比10.2%減)、経常利益2,234百万円(前年同期比9.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,494百万円(前年同期比9.2%減)となりました。

<焼肉事業>

焼肉事業の当第3四半期連結会計期間末の店舗数は、10店舗新規出店し、1店舗退店した結果、162店舗となりました。内訳は、あみやき亭110店舗、どんどん20店舗、かるび家4店舗、スエヒロ館16店舗、ほるとん屋7店舗、ブラックホール4店舗、島津1店舗であります。

当社が経営する「あみやき亭」では、品質の向上に徹底的にこだわり「お客様にとって価値感・満足感のある商品」を提供するなど、既存店強化に努めてまいりました。

また、「食肉の専門集団」である強みを活かした名古屋市場直送の新鮮な朝挽きホルモンをその日のうちにお客様へ提供するホルモンと牛タン専門店の「ほるとん屋」におきましては、引き続きお客様に満足感・価値感のあるものとなるよう更に商品の磨きこみを行っております。

株式会社スエヒロレストランシステムが経営する焼肉「スエヒロ館」につきましては、「スエヒロ」ブランドの知名度と「食肉の専門集団」である強みを活かした和牛商品を「チェーン店価格」で提供するなどグループシナジーを発揮した展開をしております。

また、株式会社アクトグループが経営する焼肉業態へ当社より焼肉食材を供給し、一層の品質向上に努めてまいりました。

以上の結果、焼肉事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は、17,520百万円(前年同期比1.7%増)となりました。

<焼鳥事業>

焼鳥事業の当第3四半期連結会計期間末の店舗数は、2店舗新規出店し、1店舗退店した結果56店舗であります。

焼鳥事業は、当社が経営する「元祖やきとり家美濃路」であります。

焼鳥事業におきまして、以前より最優先事項として内部取り組みを行ってまいりましたが、既存店売上が前年を上回るなど成果が鮮明化しており、新規出店を再開しております。

以上の結果、焼鳥事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は、2,830百万円(前年同期比0.1%減)となりました。

<その他の事業>

その他の事業の当第3四半期連結会計期間末の店舗数は、23店舗であります。

内訳は、株式会社スエヒロレストランシステムが経営する、レストランの「スエヒロ館」9店舗、居酒屋「楽市」3店舗と株式会社アクトグループが経営する寿司業態の「すしまみれ」6店舗、ダイニング4店舗、イタリアンレストラン1店舗であります。

レストランの「スエヒロ館」につきましては、スエヒロブランドを活かしつつ「食肉の専門集団」である当社グループの強みを活かした「100%国産ハンバーグ」「国産牛ステーキ」を提供するハンバーグ・ステーキの専門店として、引続き品質の向上に努めてまいりました。

居酒屋「楽市」につきましても、メニュー開発を行うとともに商品の品質向上やお客さまの立場に立った接客・サービスの向上に努めてまいりました。

株式会社アクトグループが経営する寿司業態、ダイニング業態、イタリアン業態とも快適な空間で食事を楽しんで頂くことを目指しております。

以上の結果、その他の事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は2,400百万円(前年同期比4.7%増)となりました。

なお、各事業への売上高については実績ベースにおいて記載しており、連結売上高に含まれておりますポイント引当金の影響を考慮しておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産額は、22,386百万円となり、前連結会計年度末と比較し、504百万円増加しました。主な要因は建物等の増加によるものです。

負債総額は、4,090百万円となり、前連結会計年度末と比較し、304百万円減少いたしました。主な要因は未払法人税等の減少によるものです。

純資産額は、18,295百万円となり、前連結会計年度末と比較し、809百万円増加いたしました。主な要因は利益剰余金の増加によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の連結業績予想につきましては、平成28年4月1日公表の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間から適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,080	9,117
預け金	78	231
売掛金	5	3
商品及び製品	58	72
原材料及び貯蔵品	340	169
繰延税金資産	197	102
その他	397	435
流動資産合計	10,158	10,131
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	5,220	5,640
構築物(純額)	315	330
機械及び装置(純額)	226	247
車両運搬具(純額)	20	15
工具、器具及び備品(純額)	201	247
土地	1,592	1,592
建設仮勘定	103	61
有形固定資産合計	7,679	8,133
無形固定資産		
ソフトウェア	7	7
のれん	588	554
その他	39	47
無形固定資産合計	636	610
投資その他の資産		
投資有価証券	7	5
長期貸付金	291	295
繰延税金資産	395	424
差入保証金	1,396	1,444
投資不動産	685	682
その他	631	658
投資その他の資産合計	3,407	3,510
固定資産合計	11,722	12,255
資産合計	21,881	22,386

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,093	1,080
未払金及び未払費用	1,169	1,288
未払法人税等	566	255
賞与引当金	141	97
役員賞与引当金	-	22
株主優待引当金	2	4
ポイント引当金	52	42
その他	638	534
流動負債合計	3,663	3,325
固定負債		
繰延税金負債	24	10
資産除去債務	356	378
その他	350	376
固定負債合計	731	764
負債合計	4,395	4,090
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,473	2,473
資本剰余金	2,426	2,426
利益剰余金	12,585	13,395
株主資本合計	17,486	18,295
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	0
その他の包括利益累計額合計	0	0
純資産合計	17,486	18,295
負債純資産合計	21,881	22,386

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	22,354	22,761
売上原価	8,360	8,573
売上総利益	13,994	14,188
販売費及び一般管理費	11,602	12,040
営業利益	2,391	2,147
営業外収益		
受取利息	9	5
受取配当金	0	0
受取賃貸料	11	12
協賛金収入	42	55
その他	12	15
営業外収益合計	76	89
営業外費用		
不動産賃貸費用	1	2
営業外費用合計	1	2
経常利益	2,466	2,234
特別利益		
固定資産売却益	0	0
受取保険金	0	0
投資有価証券売却益	—	1
特別利益合計	1	2
特別損失		
固定資産除却損	17	19
減損損失	12	—
特別損失合計	30	19
税金等調整前四半期純利益	2,437	2,217
法人税、住民税及び事業税	752	671
法人税等調整額	39	51
法人税等合計	791	723
四半期純利益	1,645	1,494
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,645	1,494

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益	1,645	1,494
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	△0
その他の包括利益合計	△0	△0
四半期包括利益	1,645	1,494
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,645	1,494

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(開示の省略)

四半期連結キャッシュ・フロー計算書、セグメント情報、その他の注記事項、個別情報、補足情報等は第3四半期決算短信における開示の必要性が大きくないと考えられるため開示を省略しております。